

# TIFFANY & Co.

NEW YORK SINCE 1837

## ティファニー、2018年の広告キャンペーン「Believe In Dreams」を公開 エイサップ・ファークとエル・ファニングが、「ムーン・リバー」をモダンにリメイクした楽曲と共に登場

ティファニーは、素晴らしい才能の予想外の組み合わせから生まれた、新しい広告キャンペーン「Believe In Dreams」を発表いたしました。

本キャンペーンのフィルムは、女優エル・ファニングがニューヨーク五番街本店のウィンドウを覗き込むモノトーンのシーンから始まります。これは、1961年のクラシック映画『ティファニーで朝食を』のオープニングシーンにオマージュを捧げたものです。その後、エル・ファニングを取り巻く世界は、ニューヨークのストリートが音楽や色彩で溢れる夢のような世界へと変貌します。そこで流れる音楽は、エイサップ・ファークがオリジナルの歌詞を手掛けた「ムーン・リバー」のリメイク版。エル・ファニングが軽やかに美しい歌声を響かせます。

自由な精神を持つ革新的な女優とミュージシャンという2人の組み合わせは、「ニューヨークは何でも起こりうる場所であり、ティファニーは夢が現実となる場所である」というティファニーの根本にある理想を象徴します。本キャンペーンでティファニーは初めて音楽を制作し、この音楽は5月3日よりSpotifyにて独占的にストリーミング配信されています。

ティファニーのチーフ・アーティスティック・オフィサーであるリード・クラッコフは、次のように述べています。「今回のキャンペーンでは斬新なアプローチを追求しました。並外れて美しいビジュアルと過去へのノスタルジックなオマージュとなる楽曲を組み合わせることで、まったく予想外のものを生み出し、その瞬間を表現したかったのです」。

本キャンペーン「Believe In Dreams」のフィルムを撮影したのは、ポップカルチャーを代表するアイコン的なミュージックビデオや映画の制作で知られ、映画『ハンガー・ゲーム』の監督も務めたフランシス・ローレンスです。彼のクリエイティブな解釈によって、ニューヨークのストリートは魔法のような背景となり、街に溢れる大胆なスタイルや止むことのないエネルギーは、ライアン・ハフィントンの振り付けによるダンスで見事に表現されました。マディー・ジグラーは、その演出の中で注目のパフォーマンスを演じました。

#TiffanyBlue #TiffanyPaperFlowers @tiffanyandco

ティファニーは、1837年にニューヨークで創業した国際的に著名なジュエラーです。長い歴史と伝統に裏打ちされた、アイコン的なジュエリーとラグジュアリー製品の製造販売を世界的に手がけています。ティファニーは、20ヶ国以上で300以上のストアを運営しています。更に詳しい情報は、[tiffany.com](http://tiffany.com)をご覧ください。

TIFFANY、TIFFANY & CO.、T&CO.、Tiffany Paper Flowers、ティファニー、ティファニー ペーパーフラワーは、ティファニー・アンド・カンパニーとその関連会社の登録商標です。

### 一般からのお問い合わせ先

ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク  
TEL 0120-488-712 URL [www.tiffany.com](http://www.tiffany.com)

### 報道関係者お問い合わせ先

ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク パブリックリレーション  
TEL 03-6895-4473 FAX 03-3287-0168